

好奇心旺盛なスタッフがめぐります！
ASA探検隊

＜平城遷都1300年祭＞奈良探検特別編④
鑑真をたずねて

本紙3月～5月号で好評を頂きました特集・平城遷都1300年祭「奈良探検」。
第4弾は「鑑真をたずねて」西ノ京を訪れました。平城宮を二分する朱雀大路。その西側にひろがる街並みは静かで、田園風景に古墳も点在しています。
近鉄橿原線西ノ京駅下車。車なら木津川市の川久保交差点から「歌姫街道」を一路南へ直進、平城宮跡を横目に通称「みやと通」の近鉄踏切を越えてから、三条大路右折してまもなくのところに目印の「唐招提寺」の道標が見えてきます。

唐招提寺

P500円・拝観料600円(大人)



唐招提寺南大門

車を唐招提寺前の駐車場に止め、いざ出発♪ まずは駐車場隣接の土産店きとらさんの店内をぐるりとひとめぐり。1300年祭のグッズはもちろん、奈良土産の物品がたくさん並んでいて、少し後ろ髪を引かれながら、西ノ京の世界遺産めぐりのスタートです。

南都六宗のひとつ律宗の総本山。唐僧の鑑真が渡航に何度も失敗(遭難や難破)して、長い歳月を労して753年によやく来日を果たしました。授戒者として、在日10年間の半分をこのお寺で過ごし、授戒数は4,5万人とも言われ、薬品から食料品まで教義のほかにも唐の豊かな文化が持ち込まれました。

759年、時の朝廷が鑑真の功績に新田部親王の邸を下賜されたのが唐招提寺の始まり。当初は戒律を説く学問所で「唐律招提」と呼ばれ私立学問所の意があったそうです。

南大門をくぐると国宝の金堂がのびやかな屋根をひろげています。奈良寺院でよく見かける萩もやさしく風に吹かれ、威風堂々の姿がとても素敵に映ります。

室内には本尊の盧舎那仏座像(3m高)、向かって右は薬師如来立像(3m高)、左は千手観音立像(5m高)が「天下三戒壇」を表していると言われ、華麗かつ厳かな空気に心も休まります。

残念ながらこの日は、御影堂の鑑真和上の像に出会えませんでした。毎年6月3日～7日(命日前後)は公開され、東山魁夷の絵画も同時に見ることができるよう。新宝蔵にも重要文化財の仏像も多く、特にお気に入りの「十一面観音像」の二体に出会えたので、すっかり大満足でした。

西ノ京の街並み



木漏れ日が気持ちよい...

唐招提寺の静かな境内を後にして、一方通行の道を薬師寺北門方向へ歩きます。時間がゆるやかに流れ、のんびり気分に拍車がかかりますが、食事処・大納言さんやそば処・よしむらさんの看板を見るや、もうスタッフのお腹はスタンバイ中!?

猛暑の余韻も少し残っています。寺院の土塀、脇道の田園や茂る木々の影、ときおり聞こえてくる踏切音と通過音。何気ない日常風景の魅力があふれています。

人の流れも東大寺あたりと比べれば少なく、東奈良の「動」に対し、こちらは「静」といったところでしょうか。そんな思いをいながらぶらぶらしていると、「←がんこ一徹長屋」の小さな看板を目にして、早速の寄り道は我がスタッフの得意技♪脇道にそれ、小さな踏切を越え、西ノ京駅のすぐ西側にたどり着きました。

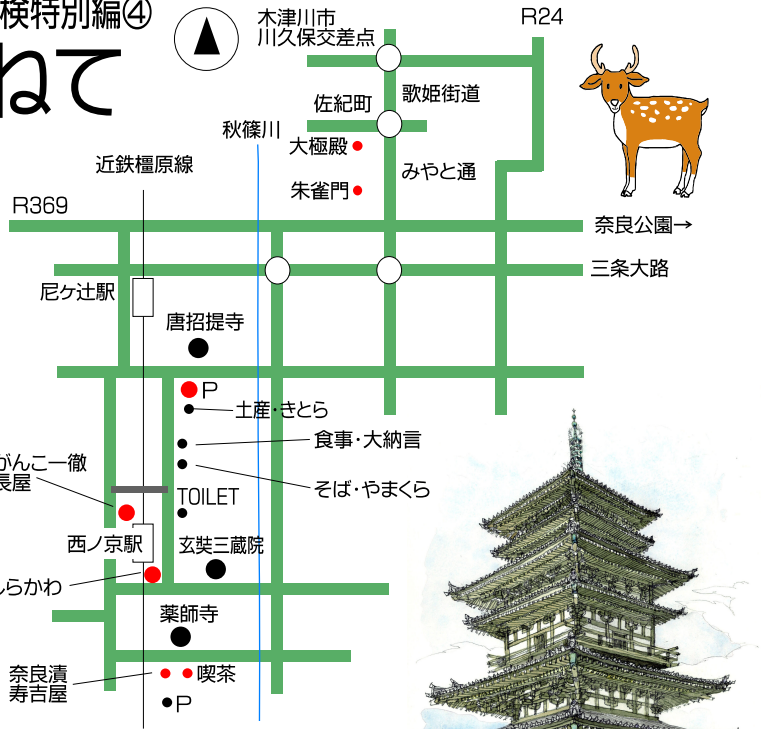
がんこ一徹長屋

大和の匠

(問)TEL.0742-41-7011
(営業)10:00～17:00 (Pあり)月曜定休
入場料500円(一般)・250円(小・中学生)
奈良市西ノ京町215-1

う～ん、ツイテません。あいにくの定休日。で、開いていたのは書画用品の展示室(販売)だけでした。

奈良の伝統文化を今に伝える6人衆の集う「長屋」は、赤膚焼・奈良筆・漆工芸・茶筌・表具・一刀彫の匠が勢ぞろいとか。次の機会には、たつぱり奈良の文化に浸ってみようと思います♪



しらかわ

(問)TEL.0742-34-8075 奈良市西ノ京町372-2
(営業)9:00～17:00 月曜定休

さて、薬師寺北門すぐの「しらかわ」さんで、待望のひとつときです♪

山菜そば(600円)と柿の葉寿司(1皿3個360円)で、お腹は満腹なのに、名物の西ノ京だんご(350円)をひとつ追加で、奈良の味覚満喫の昼食タイムでした♪

お店の看板は見当たりませんが、薬師寺北門すぐで、懐かしい茶店を感じさせるお店でした。いっぽく後は、北門前の玄奘三蔵院へ行きました。



薬師寺

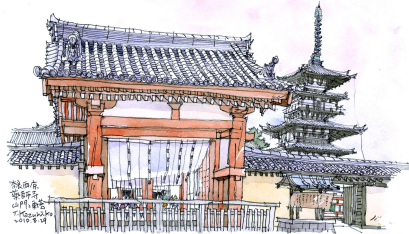
玄奘三蔵院伽藍

ちょうど唐招提寺と薬師寺北門に挟まれた位置で、芝生の広がる玄奘三蔵院伽藍の真新しい彩りに仏教世界が伝わってくる思いです。

大塔西域壁画殿では、1300年祭にちなんで平山郁夫の大壁画も公開されており、仏教の深遠な風景に包みこまれるような気持ちのよい空間を味わいました。明るい境内を後にして、薬師寺北門を迂回して、歩く道すがら西塔と東塔の九輪を眺めながら南門を目指します。



まもなく解体修理で10年の眠りにつく東塔



南門と東塔

南門から中門、そして金堂を挟むように対峙する双塔。白鳳時代建立の東塔は、三層の主屋根の間に裳階(もこし)という意匠を重視した副屋根が組み込まれリズムカルな表情をかもし出しています。

金堂を含めた白鳳伽藍復興前の薬師寺の境内は、この東塔のみがシルエットとなって、奈良西ノ京の輝ける存在だったのでしよう。

平城遷都1300年祭が終わるとすぐに、東塔の解体・修復が始まり、およそ10年その姿が隠れます。その間は、西塔がお迎えしてくれるのですが、南門から眺めるこの風景ともしばしお別れです。

煌びやかな朱を基調とした明快な彩りに気持ちの高揚を感じます。また、伽藍中央の金堂からは僧侶のユーモラスな法話に笑い声も響いてきます。祈りの風景もいろいろありますが、のびのびとした雰囲気と優しさに包み込まれた「鑑真を訪ねて」の西ノ京巡りとなりました♪

今回は、奈良特集最終編⑤斑鳩の里... お楽しみに♪

ASA木津のまかない料理♪

ASA集金スタッフ 杉原

イカのシノ風味の炒め物♪

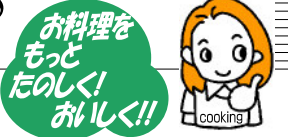
＜材料＞4人分

- ・イカ 2ハイ
- ・オリーブ油 大2
- ・赤唐辛子(小口切)2本
- ・青ジソ 6枚
- ・にんにく(みじん切)小1

A...塩 小さじ1/4～1/3さじ
コショウ 少々、しょうゆ 少々

＜作り方＞

- ①イカは内臓を抜き、2cm幅の輪切りにし、青ジソは1cm幅に切っておきます。
- ②フライパンにオリーブ油を熱してニンニクを入れて香りが出たら①のイカを入れ手早く炒めます。
- ③小口切した赤唐辛子を加え、Aの調味料を入れ火を止める。青ジソを入れ、ひと混ぜして器に盛り付けて完成です♪



お散歩で会いたいです！



シェリーちゃん(ビーグル11才)
& コタロウくん(チワワ10ヶ月)

物静かなお姉ちゃんやんちゃな弟です。いつも弟のコタロウにやんちゃをされて、迷惑顔のシェリーです。

■精華町桜が丘 高橋さま

